

なまこかべ
海鼠壁について



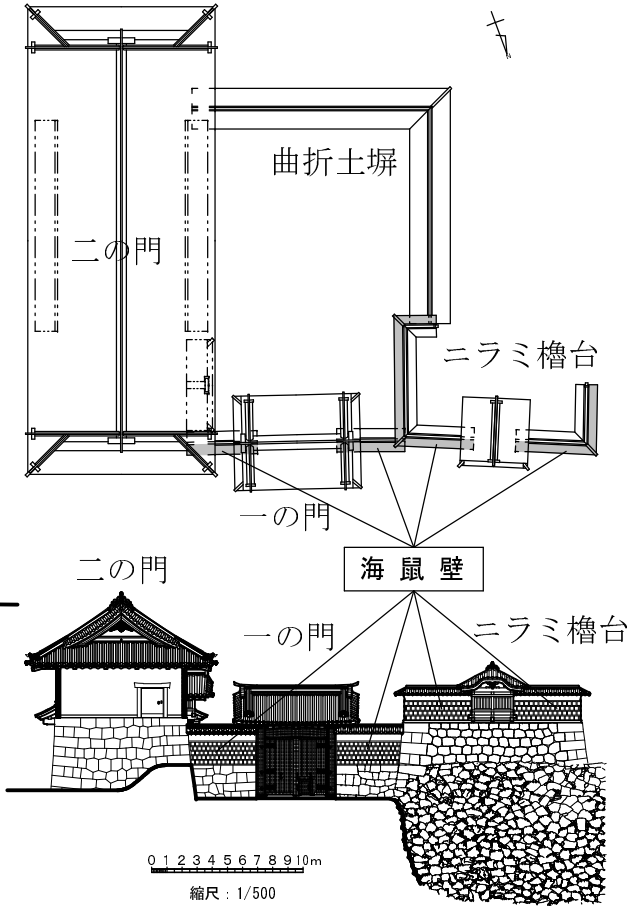
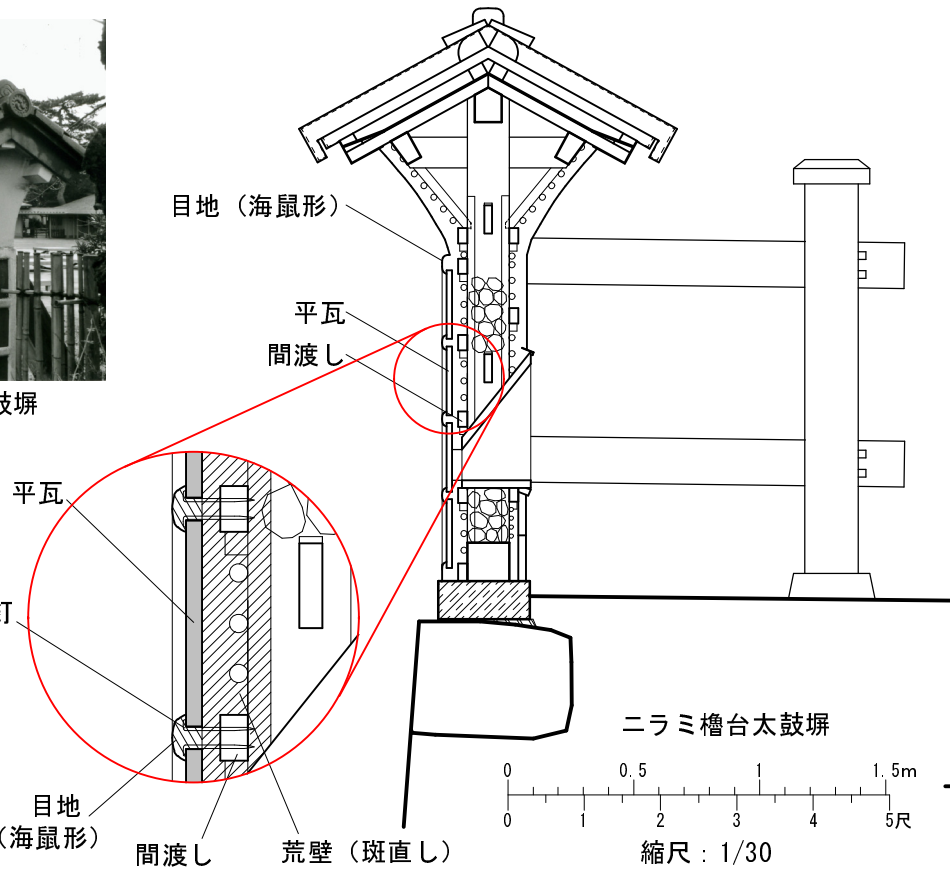
海鼠壁の例：石川門附属右方太鼓塀

海鼠壁とは

平瓦を並べて貝折釘にて止め、
目地に漆喰を盛り上げてその断面を
海鼠形にした壁のこと。



貝折釘 (ステンレス製)



工 程

ニラミ櫓台太鼓塀



①荒壁 (斑直し) 完了
むらなお
荒土を塗り終えた状況。



②平瓦取付
荒壁に墨打ちを行い、壁の後ろにある
間渡しに対して平瓦を貝折釘で止める。

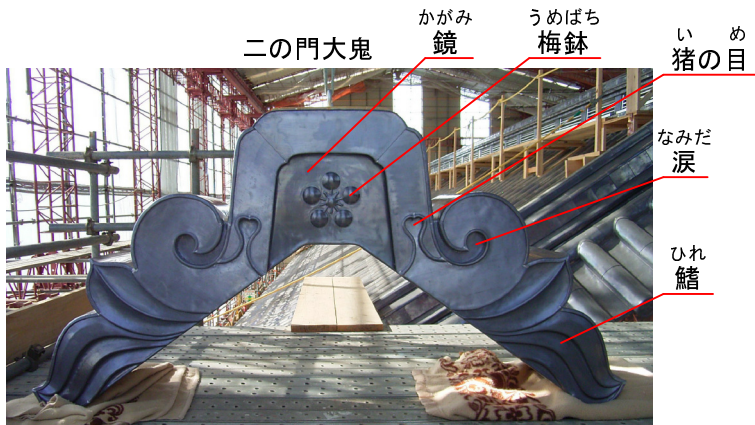


③目地砂漆喰塗り
海鼠壁の目地は砂漆喰を3回に分けて
塗り、2層目に麻縄を仕込む。



④目地漆喰仕上げ

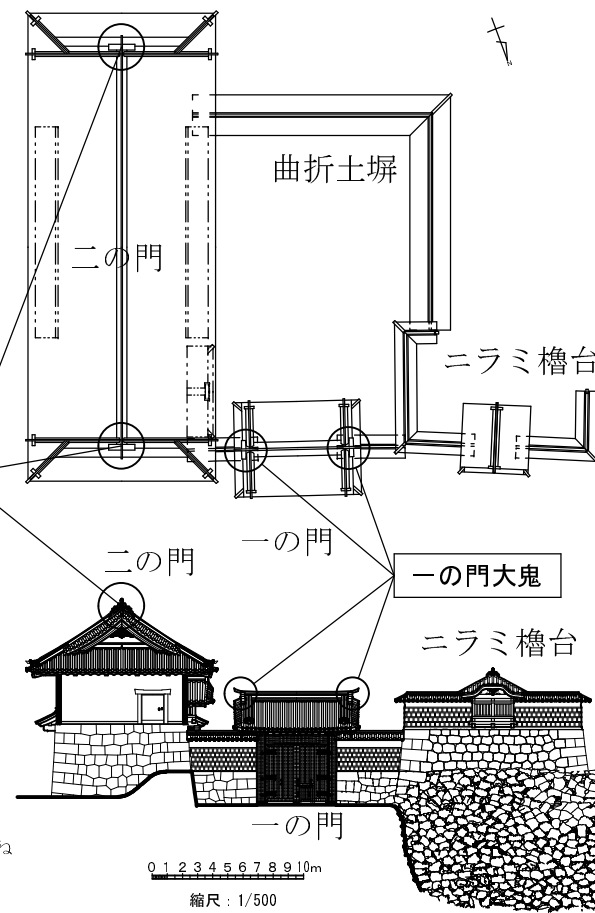
大鬼鉛巻きについて



幅：1.9m 高さ：1.0m 厚：40cm 重量：140kg



鉛葺工事で使用した道具



工程 一の門大鬼



①鉛巻き着手前
木工事としての鬼の製作が完了。能登ヒバを使用、中は空洞である。



②鏡・鰭の加工取付
梅鉢文様を打出した鏡を取付け、鰭部分を加工する。



③鰭打出し
鰭の凹凸を養生された木製鑿たがねにて打出す。



④正面の鉛巻き完了
ハゼ部分に銅板を掛けて木材に釘止めとし、表面に釘が表れないように工夫してある。



⑤背面鉛巻き
背面は3枚の鉛板を巻く。継ぎ目は半田付を行う。



⑥天板の取付け
天板と背面板のハゼ締めを行っている状況。



⑦一の門大鬼鉛巻き完了！